

愛媛県歴史文化博物館

No.67

歴博だより

Museum of EHIME History and Culture's News

特別展

邪馬台国時代の伊予・四国

平成23年10月8日[土]～12月4日[日]

開館時間／午前9時～午後5時30分(展示室への入室は午後5時まで)

休館日／毎週月曜日

(但し、10月10日[月]・11月7日[月]開館、10月11日[火]・11月8日[火]休館)

主催／愛媛県歴史文化博物館

後援／愛媛県市町教育委員会連合会・愛媛新聞社・NHK松山放送局・南海放送・テレビ愛媛・あいテレビ・愛媛朝日テレビ・愛媛CATV・FM愛媛

観覧料／大人(高校生以上)500円(400円) 小中学生・65歳以上250円(200円)

* () 内は20名以上の団体料金

*他にお得な常設・特別展共通券もあります。



2世紀から3世紀の日本列島の歴史を考える上で重要な「邪馬台国」。この時代の伊予・四国の実情はどうだったのでしょうか？

近年、愛媛県内では、出現期の前方後円墳(松山市朝日谷2号墳)や西日本有数の首長居館(松山市樽味四反地遺跡)など、3世紀前後における考古学成果が数多く蓄積されています。

本展覧会では、3世紀前後の県内及び四国内の考古学資料を集成・紹介することにより、邪馬台国時代の伊予・四国の位置づけを検討します。さあ、邪馬台国時代の伊予・四国の世界へ！！

特別展関連講座

「遺跡ウォーク 香川の前期古墳を歩く！」

日時：10月15日(土)

講師：高上拓氏(高松市教育委員会文化財課)

「邪馬台国時代の和と伊予」

日時：10月23日(日)

講師：梅木謙一氏(松山市考古館)

「遺跡ウォーク 妙見山古墳・相の谷1号墳を歩く！」

日時：10月29日(土)

講師：富田尚夫(当館学芸員)

「邪馬台国時代の伊予・瀬戸内海」

日時：11月6日(日)

講師：柴田昌児氏((財)愛媛県埋蔵文化財調査センター)

「昔の鏡をつくってみよう！」

日時：11月12日(土)

講師：亀井英希(当館学芸員)

「銅鏡から見た邪馬台国時代の四国」

日時：12月4日(日)

講師：富田尚夫(当館学芸員)

詳細は、本誌4ページをご確認ください。

考古

ト骨

「輒灼骨而卜以占吉凶先告所卜其辭如令龜法視火坵占兆（輒ち骨を灼きて卜し以て吉凶を占う。先ず卜する所を告ぐ。其の辭は令龜の法の如く、火坵を視て兆を占う。）」

『魏志』倭人伝より

中国の歴史書『魏志』倭人伝に記された当時の占いは、シカやイノシシを使った「ト骨」という考古資料によって復元することができず、骨に孔を開け、焼いてできる亀裂によって吉凶を占ったものです。



時代 古墳時代初頭
 出土地 松山市宮前川遺跡津田第II地区
 所蔵 愛媛県教育委員会蔵(当館保管)
 法量 長さ 16.1cm

(専門学芸員 富田尚夫)

この資料は、シカの肩甲骨を用いたもので、2箇所（けんこうこつ）の孔が開けられ、割れた跡を見ることが出来ます。この遺跡周辺では、1990年代の調査で他に10点が出土しており、四国内でもト骨が多く出土している遺跡です。

当時の人々はこのト骨を用いて何を占ったのでしょうか？

考古

鍬

今からおよそ2500年前の縄文時代晩期、朝鮮半島を經由して日本列島に米作りの技術がもたらされたことに伴い、北部九州に鍬が出現します。その後、列島各地に米作りが広がるようになると、弥生時代以降の遺跡で多数出土するようになります。愛媛県内でも、弥生時代から古墳時代にかけてのものが、未製品も含めると、これまで30点ほど見つかっています。

現代の鍬は、柄は木で身は鉄でできていますが、この時代の鍬は刃先まで木でできたものがほとんどでした。また、装着された柄が真っ直ぐなもの（直柄）と曲がっているもの（曲柄）があり、それぞれ先端が分かれていない平鍬と二又以上に分かれている又鍬がありました。本資料は、直柄平鍬ですが、逆水滴形と「コ」字をつないだ形態の着柄隆起部を持っているのが特徴で、これと似たものは、坪栗遺跡（西予市）で出土しているだけです。愛媛県内で出土している直柄平鍬の大半が、上下とも均整に尖った紡錘形の着柄隆起部をしているので、これは大変珍しい形態といえます。

(専門学芸員 亀井英希)



年代 古墳時代初頭？
 出土地 松山市斎院烏山遺跡2次調査
 所蔵 愛媛県教育委員会蔵(当館保管)
 サイズ 長さ23.5cm、幅17.8cm

※ト骨、鍬は特別展にて展示予定です。

特別展

邪馬台国時代の 伊予・四国

関連イベントのご案内

平成23年10月8日(土)～12月4日(日)
(休館日:10/11・17・24・31・11/8・14・21・28)



松山市榊味四反地遺跡大型建物復元図
(宮本長二郎氏作成・松山市立埋蔵文化財センター提供)

勾玉をつくろう

日 時／特別展会期中の
土曜日・日曜日・祝日
9:00～12:00
※各日先着30名
場 所／こども歴史館
材料費／200円



弥生人にへんしん☆

日 時／特別展会期中の
土曜日・日曜日・祝日
9:00～12:00
場 所／こども歴史館
材料費／100円



ガラス玉ブレスレットをつくろう

日 時／特別展会期中の
土曜日・日曜日・祝日
13:00～16:00
場 所／こども歴史館
材料費／200円



きびもちをつくろう

日 時／特別展会期中の
土曜日・日曜日・祝日
13:00～16:00
場 所／エントランスホール
材料費／300円



邪馬台国スゴロク

日 時／特別展会期中 9:00～17:30
場 所／エントランスホール
参加費／無料

※各イベントの事前申込は受付けておりません。 ※友の会会員は各有料イベントの材料費が一回無料となります。



れきはくのお化け屋敷
あしあと

大好評!れきはくお化け屋敷

平成23年7月16日(土)～8月31日(水)の期間中、こども歴史館において、「れきはくお化け屋敷 part2-学校の怪談-」を開催しました。昨年からさらにパワーアップしたお化け屋敷は、連日多くのお客様で賑わいました。学校を舞台に繰り広げられる恐怖の数々に、気持のよい悲鳴があちこちから起こります。皆さま暑さも忘れて、お化け屋敷を満喫されたようです。期間中、多くの方にご参加いただきました。たくさんの皆さまのご来館、誠にありがとうございました。



友の会より
お知らせ

10月1日より友の会会費が半額になります。友の会は、愛媛の歴史や民俗について学び親しみむ人たちの集まりです。10月1日より入会いただく場合、会費が半額になります。常設展が無料になる他、この秋の特別展も無料でご観覧いただけます。ぜひ、この機会にご入会ください。

お問い合わせ先:友の会事務局
0894-62-6222 栗岡・広瀬

平成 23 年度 歴史文化講座

歴史・文書講座 13:30~15:00

- 講座番号⑥「明治期における今治城と士族」
日 時:10月16日(日)
講 師:平井 誠(当館学芸員)
- 講座番号⑦「戦国時代の西園寺氏・宇都宮氏・河野氏-鳥坂合戦を中心に-」
日 時:11月23日(祝・水)
講 師:山内 謙氏(松山大学教授)
- 講座番号⑧「中世の宇都宮氏について-下野国との関りを中心に-」
日 時:1月22日(日)
講 師:土居聡朋(当館学芸員)
- 講座番号⑨「幕末維新期の文書を読む①」
日 時:2月26日(日)
講 師:井上 淳(当館学芸員)
- 講座番号⑩「幕末維新期の文書を読む②」
日 時:3月11日(日)
講 師:井上 淳(当館学芸員)

民俗講座 13:30~15:00

- 講座番号③企画展関連
「へんろ石は語る」
日 時:3月4日(日)
講 師:喜代吉榮徳氏(元早稲田大学非常勤講師)
- 講座番号④企画展関連
「企画展『四国へんろの旅』の見どころ」
日 時:3月18日(日)
講 師:今村賢司(当館学芸員)

考古講座 13:30~15:00

- 講座番号②特別展関連
「邪馬台国時代の大和と伊予」
日 時:10月23日(日)
講 師:梅木謙一氏(松山市考古館)
- 講座番号③特別展関連
「邪馬台国時代の伊予・瀬戸内海」
日 時:11月6日(日)
講 師:柴田昌児氏((財)愛媛県埋蔵文化財調査センター)
- 講座番号④特別展関連
「銅鏡から見た邪馬台国時代の四国」
日 時:12月4日(日)
講 師:富田尚夫(当館学芸員)

お問い合わせ:企画普及グループ・歴史文化講座係
TEL(0894)62-6222 / FAX(0894)62-6161

体験講座

- 講座番号⑨特別展関連 遺跡ウォーク③
「香川の前期古墳を歩く」(定員40名)
日 時:10月15日(土) 7:30~18:00
講 師:高上 拓氏(高松市教育委員会文化財課)
参加費:6,000円程度
- 講座番号⑩特別展関連 遺跡ウォーク②
「妙見山古墳・相の谷1号墳を歩く」(定員30名)
日 時:10月29日(土) 8:30~17:30
講 師:富田尚夫(当館学芸員)
参加費:4,500円程度
- 講座番号⑪特別展関連
「昔の鏡をつくってみよう」(定員20名)
日 時:11月12日(土) 13:30~15:30
講 師:亀井英希(当館学芸員)
材料費:800円程度
- 講座番号⑫「香道にふれる-お香をたいてみよう-」(定員20名)
日 時:11月19日(土) 13:30~15:30
講 師:橋本典子氏(香十)
材料費:1,000円程度
- 講座番号⑬遺跡ウォーク④
「国指定史跡・等妙寺と河後森城を訪ねる」(定員30名)
日 時:12月10日(土) 7:10~18:30
講 師:土居聡朋(当館学芸員)
参加費:3,500円程度
- 講座番号⑭企画展関連 遺跡ウォーク④
「四国遍路の元祖 衛門三郎ゆかりの地を訪ねて」(定員30名)
日 時:3月10日(土) 9:00~17:00
講 師:滝口伸一氏(今治明德短期大学客員教授)
参加費:3,500円程度
- 講座番号⑮「和綴本をつくろう」(定員20名)
日 時:3月17日(土) 13:30~15:30
講 師:安藤久美子(当館学芸員)
材料費:500円程度

【講座の申込方法】

希望する講座番号又は講座名とご住所・お名前・年齢・電話番号など必要事項を記入し、開講日の1週間前(体験講座は2週間前)までにはがきなどでお申し込みください。
※定員に満たない場合は、申込締切後にも受け付けます。応募者多数の場合は抽選となりますのであらかじめご了承ください。

開館記念無料開放日のご案内

当館は11月で開館17年目を迎えます。11月13日(日)は開館を記念し、常設展・特別展が無料でご覧いただけます。ぜひ、博物館にお越しください。

ご利用案内

- 開館時間 9:00~17:30 (入館は17:00まで)
- 休 館 日 月曜日(下記カレンダーをご参照ください)
- 観 覧 料

常設展 テーマ展	区分	一般	団体
	小・中学生	無料	無料
	大人(高校生以上)	500円	400円
	65歳以上	250円	200円

※企画展・特別展の観覧料はその都度定めます。
※団体は20名以上です。
※テーマ展をご覧いただくには、常設展示観覧料が必要です。

Museum Calendar 2011.9-11 休館日

9 月							10 月							11 月							
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
				1	2	3						1					1	2	3	4	5
4	5	6	7	8	9	10	2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12	
11	12	13	14	15	16	17	9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19	
18	19	20	21	22	23	24	16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26	
25	26	27	28	29	30		23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30				

◆展示スケジュール 2011.9-2012.3 ◆

2011	9	常設展	
10	10	常設展 えひめの歴史と文化	特別展「邪馬台国時代の伊予・四国」 10月8日(土)~12月4日(日) ▶「開館記念日イベント」11月13日(日)
11	11		
12	12		▶「新春イベント」1月2日(祝・月)・1月3日(火)
2012	1		▶森林環境税活用事業「森の博物館」2月4日(土)~2月19日(日)
2	2		企画展「四国へんろの旅-絵図・案内記と道標-」 2月21日(火)~4月8日(日)
3	3		

※都合により、行事や展示、日程などについては、変更・中止される場合がありますので、あらかじめご了承ください。



愛媛県歴史文化博物館
MUSEUM of EHIME HISTORY and CULTURE
管理運営:指定管理者 イヨテツ ケータサービス株式会社
〒797-8511 愛媛県西予市宇和町卯之町 4-11-2 電話:0894-62-6222
【ホームページ】 <http://www.i-rekihaku.jp>

●発行日 平成23年9月1日 ●編集/発行 愛媛県歴史文化博物館